

## 2016年度中部支部 通常総会

1. 開催日：2016年 6月9日(水)

2. 場所：名古屋国際会議場(名古屋市熱田区熱田西町1番1号)  
地下鉄「日比野」または「西高蔵」下車徒歩約5分  
(※会場までの交通案内および会場案内は通常総会・併催行事プログラムをご参照下さい)  
駐車場は約600台駐車可能(700円/1日1回)

3. 開催行事：

行事	時間	会場
研究発表会	9:50～11:40	2号館 3階234会議室
		2号館 3階232～233会議室
		2号館 2階224会議室
理事會	10:40～11:40	2号館 2階222・223会議室
通常総会	13:00～13:50	1号館 4階レセプションホール
特別講演Ⅰ	14:00～15:00	【一般公開】 1号館 4階レセプションホール
特別講演Ⅱ	15:10～16:10	
特別企画	16:20～17:20	
会員パーティー	17:50～19:20	1号館 7階展望レストラン

4. お申込：お申込は通常総会プログラム または 中部支部ホームページをご参照下さい。

5. 通常総会：

- |                      |          |       |                  |
|----------------------|----------|-------|------------------|
| *開会の辞                | *支部長挨拶   | *来賓挨拶 | *議長選出            |
| *議事                  | ① 2015年度 |       | 事業報告に関する件        |
|                      | ② 2015年度 |       | 会計決算報告に関する件      |
|                      | ③ 2015年度 |       | 事業および会計監査報告に関する件 |
|                      | ④ 2016年度 |       | 中部支部事業計画に関する件    |
|                      | ⑤ 2016年度 |       | 中部支部予算に関する件      |
| *支部事業活動功労者に感謝状と記念品贈呈 |          |       |                  |
| *本部フェローの贈呈           |          | *閉会の辞 |                  |

## 6. 研究発表会

ご来場の際は、必ず2号館2階ロビー受付にお越し下さい。

(敬称略)

セッション	会場	時間	テーマ	発表者
第1会場 (パワートレイン・生産技術)	2号館 3階 234会議室	9:50 ~10:10	HV用Liイオン電池の開発	トヨタ自動車(株) 電池材料技術部 金田 亮
		10:10 ~10:30	低フリクションシールベアリングの開発	ジヤトコ(株) 部品システム開発部 川越 知生
		10:30 ~10:50	潤滑マネジメントにより低燃費を実現する 新構造軸受の開発	大豊工業(株) 研究部 高田 裕紀
		11:00 ~11:20	バリレス面加工技術 ~バリ極小化技術の開発による バリ取り時間の大幅削減~	アイシン精機(株) ユニット生技部 平澤 孝道
		11:20 ~11:40	ギヤスカイピングセンタ GS300H による、 リングギヤの加工技術の開発	(株)ジェイテクト 工作機械メカトロ事業本部 工作機械技術部 張 琳
第2会場 (要素技術)	2号館 3階 233会議室	9:50 ~10:10	遊星キャリアにおけるピニオン・シャフト のカシメ最適寸法の導出	ジヤトコエンジニアリング(株) 車両適用開発部 堀池 晃由
		10:10 ~10:30	異なる材料強度の稜線を有する 箱型断面の圧縮曲げ強度	トヨタ自動車東日本(株) 第2実験部 岸本 健吾
		10:30 ~10:50	ワイパーへの入力予測手法の精度向上	三菱自動車エンジニアリング(株) 機能実験部 石田 誠 =研究発表辞退=
		11:00 ~11:20	ノイズ要因がエンジン主軸受の 焼き付き性に及ぼす影響の解析	大同メタル工業(株) 技術ユニット設計センター 幸島 元彦
		11:20 ~11:40	薄型・高感度熱流センサーによる エンジン表面放熱計測	(株)日本自動車部品総合研究所 研究3部 飯塚 基正
第3会場 (安全・操安性・環境・シヤシー)	2号館 2階 224会議室	9:50 ~10:10	自動運転への依存に関する実験的考察 - ヒューマンファクタの観点から -	愛知工科大学 工学部 機械システム工学科 荒川 俊也
		10:10 ~10:30	次世代モビリティ研究用 ドライビングシミュレータの構築	名城大学大学院 理工学研究科 交通機械工学専攻 鈴木 達也
		10:30 ~10:50	FCスタックの小型高性能化を実現した 3Dファインメッシュ流路の開発	トヨタ車体(株) 新規事業開発部 二見 諭
		11:00 ~11:20	新型「バレーノ」の車体開発	スズキ(株) 四輪ボディ設計部 種田 浩大
		11:20 ~11:40	間伐材を用いた難燃化射出材料の開発	トヨタ車体(株) 新規事業開発部 納谷 藍子

## 7. 特別講演Ⅰ (14:00~15:00) 1号館4階レセプションホール&lt;&lt;一般公開&gt;&gt;

- 講師 師: 山内 雅喜氏(ヤマトホールディングス株式会社 代表取締役社長)
- 演題 題: 新たな価値を生み出す、クロネコヤマトの満足創造経営
- 講演要旨: ヤマトグループは、創業100周年を迎える2019年に「アジアNo. 1の流通・生活支援ソリューションプロバイダー」となることを目指しています。物流をコストから「バリュー(付加価値)を生み出す手段」に進化させる「バリュー・ネットワーク」構想や、本業を通じて地域の活性化を図る「プロジェクトG」の他、それを支える人材育成についてお話しいたします。



## 8. 特別講演Ⅱ (15:10~16:10) 1号館4階レセプションホール&lt;&lt;一般公開&gt;&gt;

- 講師 師: 辻 幸一氏(ヤマハ発動機株式会社 技術本部MS開発部 部長)
- 演題 題: モトGPマシン「YZR-M1」開発の軌跡
- 講演要旨: 二輪ロードレース最高峰「FIMロードレース・ワールド・チャンピオンシップ」の最上位カテゴリーが4ストロークエンジンに変更されるのに伴い、その名称も「モトGPクラス」となり既に10年以上が経過し、必要とされる技術も大きく変わってきました。今回ヤマハ発動機が使用しているモトGPマシン「YZR-M1」を例にとり、その開発の歴史をたどるとともに、二輪レースの面白さを皆様にお伝えできればと思います。



## 9. 特別企画(16:20~17:20) 1号館4階レセプションホール&lt;&lt;一般公開&gt;&gt;

- 講師 師: 嶋 和彦氏(浜松市楽器博物館 館長)
- 演題 題: 音楽や楽器は進化したのか?
- 講演要旨: 生物や科学技術には発展や発達、進化、進歩という言葉がよく使われます。しかし、音楽や美術にそれは当てはまるのでしょうか? 音楽を奏でる物体のひとつである楽器にもまたそのような考えは当てはまるのでしょうか? 音楽という目に見えないもの、楽器という目に見えるものを中心に、進化や進歩と人間の関係について考えてみたいと思います。



## 10. 会員パーティー

会員相互の親睦を深めて頂く良い機会ですので多数の方のご参加をお待ちしています。

## 2016 - 第1回見学会

開催日時	2016年4月8日(金)
会場	本田技研工業(株) 鈴鹿製作所
スケジュール	<p>※2016年度より、参加費の金額が変更になりましたので宜しくお願い申し上げます。</p> <p>12:50 近鉄白子駅東口 集合・受付 バス出発          13:30 鈴鹿製作所概要説明          14:00 工場見学(ボデー溶接、車両組立、実車展示)          15:40 ご講演「Honda Robotics の開発ストーリー」          16:20 質疑応答          16:35 閉会挨拶          16:40 バス移動          17:20 近鉄白子駅 解散</p>
集合場所	※添付「160408Honda.xls」をご参照ください。
集合時間	12:50
定員	80名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2016年3月18日(金)
参加費	【※2016年度より参加費の金額が変更になりました】正会員 2,000円 会員外 5,000円 学生は会員・会員外ともに無料 <見学会参加費は当日現金払いのみです>当日現金お支払と引換えに領収書を発行致します。つり銭のなきようご用意願います。
参加者条件など	<p>注)現地に駐車場は用意しておりません。集合場所からは当支部手配のバスにご乗車頂き、現地へ向かいます。</p> <p>・工場内の撮影・録音、ハイヒール・サンダル・草履の着用は禁止。</p> <p>■開催日2週間前頃に最終出欠確認のご案内メールを参加予定者へ配信しています。最終確認メールが届かない場合は当事務局へお問合せください。</p> <p>■事前連絡なく開催日当日に代理の方がお越し頂いてもご参加頂けません。</p>
添付ファイル	<a href="#">160408Honda.xls</a>

## 2016 - 第2回見学会

開催日時	2016年5月13日(金)
会場	ジャトコ(株) 富士工場
スケジュール	<p>※2016年度より、参加費の金額が変更になりましたので宜しくお願い申し上げます。</p> <p>12:55 JR新幹線「新富士」駅北口 集合・受付 バス出発          13:30 会社概要説明          13:45 工場見学          15:15 休憩          15:25 ご講演「JEPS(JATCO 生産方式)の紹介」          15:55 質疑応答          16:20 閉会挨拶          16:25 バス移動          17:00 JR新幹線「新富士」駅 解散</p>
集合場所	※添付「160513Jatco.xls」をご参照ください。
集合時間	12:55
定員	40名

申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い「中部支部行事申込書」に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2016年4月13日(水)
参加費	【※2016年度より参加費の金額が変更になりました】正会員 2,000円 会員外 5,000円 学生は会員・会員外ともに無料 <見学会参加費は当日現金払いのみです>当日現金お支払と引換えに領収書を発行致します。つり銭のなきようご用意願います。
参加者条件など	注)現地に駐車場は用意しておりません。集合場所からは当支部手配のバスにご乗車頂き、現地へ向かいます。 ・工場内の撮影・録音、ハイヒール・サンダル・草履の着用は禁止。 ■開催日2週間前頃に最終出欠確認のご案内メールを参加予定者へ配信しています。最終確認メールが届かない場合は当事務局へお問合せください。 ■事前連絡なく開催日当日に代理の方がお越し頂いてもご参加頂けません。
添付ファイル	<a href="#">160513Jatco.xls</a>

## 2016 - 第3回見学会

開催日時	2016年6月24日(金)
会場	オークマ(株)本社工業 → 刈谷市産業振興センター
スケジュール	★移動は中部支部手配のバスにご乗車頂きます★  <参加者のバス乗車場所と時間> ※北陸地区の自動車技術会担当より、参加者の方に直接ご連絡致します。  9:00~11:15 見学会 オークマ株式会社 本社工場 自動化と熟練の技が織りなす工作機械の最新鋭工場 ①工作機械の加工-組立 一貫生産 ②歴史展示 ③ショールーム  11:15~12:00 バス移動  12:00~13:00 昼食・休憩(於:刈谷市産業振興センター)  13:00~16:45 第2回技術講習会(於:刈谷市産業振興センター) ※講演内容などの詳細は「第2回技術講習会(刈谷市)」のご案内をご参照ください。  17:00~ 帰路(乗車場所を經由)
概要	注)当日の集合場所など詳細は参加者にご案内致します。
定員	25名
申込方法	下記「お申込方法はこちら」から必要事項をご記入の上、お申込下さい。
申込締切日	2016年5月27日(金)
参加費	正会員 4,000円 会員外 7,000円 学生(正会員・会員外ともに)1,000円
参加者条件など	本研修は北陸地区在住の方を対象としております。

## 2016 - 第4回見学会

開催日時	2016年7月8日(金) 12:30～17:20
会場	ヤマハ発動機(株) 袋井南工場・コミュニケーションプラザ
スケジュール	<p>12:30 JR「袋井」駅南口 集合・受付・バス出発            12:55 袋井南工場概要説明            13:20 工場見学・ロビー展示場見学            14:40 休憩・質疑応答            15:00 バス移動            15:20 コミュニケーションプラザ自由見学            15:50 会社概要、講演                  「マリンエンジンのコア技術紹介」            17:00 バス移動            17:20 JR「磐田」駅 解散</p> <p>※集合は JR「袋井」駅で、解散は JR「磐田」駅になります。            行きと帰りの駅が異なりますのでご注意ください。</p>
集合場所	※添付地図「2016Yamaha.xls」ご参照ください。
集合時間	12:30
定員	50名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い「中部支部行事申込書」に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2016年6月3日(金)
参加費	正会員 2,000円 会員外 5,000円 学生は会員・会員外ともに無料◎当日現金お支払と引換えに領収書を発行致します。つり銭のなきようご用意願います。
参加者条件など	<p>注)現地に駐車場は用意しておりません。集合場所からは当支部手配のバスにご乗車頂き、現地へ向かいます。            ・工場内の撮影・録音、ハイヒール・サンダル・草履の着用は禁止。</p> <p>■開催日2週間前頃に最終出欠確認のご案内メールを参加予定者へ配信しています。最終確認メールが届かない場合は当事務局へお問合せください。</p> <p>■事前連絡なく開催日当日に代理の方がお越し頂いてもご参加頂けません。</p>
添付ファイル	<a href="#">2016Yamaha.xls</a>

## 2016 - 第5回見学会

開催日時	2016年7月22日(金) 12:20～17:30
会場	ヤマザキマザック(株) 美濃加茂製作所
スケジュール	<p>12:20 名鉄「犬山」駅東口 集合・受付・バス出発            13:10 挨拶・会社概要説明            13:40 ご講演                  「次世代ハイブリッド複合加工機」                  (1)摩擦攪拌接合                      変形や歪みの少ない接合部 異なる材質の接合も可能                  (2)金属 3D 積層造形                      金属3Dプリンタの原理で異種金属による3D積層造形</p> <p>14:50 工場見学            16:20 質疑応答            16:50 バス移動            17:30 名鉄「犬山」駅 解散</p>
集合場所	※添付「2016Mazak.xls」をご参照ください。

集合時間	12:20
定員	50名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2016年6月24日(金)
参加費	正会員 2,000円 会員外 5,000円 学生は会員・会員外ともに無料◎当日現金お支払と引換えに領収書を発行致します。つり銭のなきようご用意願います。
参加者条件など	注)現地に駐車場は用意しておりません。集合場所からは当支部手配のバスにご乗車頂き、現地へ向かいます。 ・工場内の撮影・録音、ハイヒール・サンダル・草履の着用は禁止。 ■開催日2週間前頃に最終出欠確認のご案内メールを参加予定者へ配信しています。最終確認メールが届かない場合は当事務局へお問合せください。 ■事前連絡なく開催日当日に代理の方がお越し頂いてもご参加頂けません。
添付ファイル	<a href="#">2016Mazak.xls</a>

## 2016 - 第6回見学会

開催日時	2016年9月9日(金)12:20~17:00
会場	㈱ショーワ 御殿場第一工場
スケジュール	12:20 JR「三島」駅北口(新幹線側) 集合・受付・バス出発 13:30 開会挨拶・会社概要説明(到着後、記念撮影予定) 14:00 工場見学 15:00 休憩 15:10 講演会『シミュレータを用いたステアリングフィール性能設計』 15:30 質疑応答 16:00 閉会挨拶 16:10 バス移動 17:00 JR「三島」駅 解散
集合場所	※添付「2016 showa3.xls」をご参照ください。
集合時間	12:20
定員	40名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2016年8月21日(日)
参加費	正会員 2,000円 会員外 5,000円 学生は会員・会員外ともに無料◎当日現金お支払と引換えに領収書を発行致します。つり銭のなきようご用意願います。
参加者条件など	注)現地に駐車場は用意しておりません。集合場所からは当支部手配のバスにご乗車頂き、現地へ向かいます。同業他社の方のお申込はご遠慮ください。 ・工場内の撮影・録音、ハイヒール・サンダル・草履の着用は禁止。 ■開催日2週間前頃に最終出欠確認のご案内メールを参加予定者へ配信しています。最終確認メールが届かない場合は当事務局へお問合せください。 ■事前連絡なく開催日当日に代理の方がお越し頂いてもご参加頂けません。
添付ファイル	<a href="#">showa3.xls</a>

## 2016 - 第7回見学会

開催日時	2016年10月14日(金)12:50~17:00
会場	(株)新来島豊橋造船
スケジュール	12:50 JR「豊橋」駅 集合 13:00 バス出発 13:30 (株)新来島豊橋造船着 受付、休憩 13:50 会社概要説明、安全唱和 14:00 工場見学 15:30 休憩 15:40 質疑応答 (船舶にまつわる話を織り交ぜながら解説) 16:10 閉会挨拶 16:15 バス移動 17:00 JR「豊橋」駅 解散
集合場所	※添付「2016 shinkurushima.xls」をご参照ください。
集合時間	12:50
定員	40名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2016年9月23日(金)
参加費	正会員 2,000円 会員外 5,000円 学生は会員・会員外ともに無料◎当日現金お支払と引換えに領収書を発行致します。つり銭のなきようご用意願います。
参加者条件など	注)現地に駐車場は用意しておりません。集合場所からは当支部手配のバスにご乗車頂き、現地へ向かいます。同業他社の方のお申込はご遠慮ください。スカートの着用は禁止されております。 ・工場内の撮影・録音、ハイヒール・サンダル・草履の着用は禁止。 ■開催日2週間前頃に最終出欠確認のご案内メールを参加予定者へ配信しています。最終確認メールが届かない場合は当事務局へお問合せください。 ■事前連絡なく開催日当日に代理の方がお越し頂いてもご参加頂けません。
添付ファイル	<a href="#">2016 shinkurushima.xls</a>

## 2016 - 第8回見学会

開催日時	2016年11月18日(金)12:40~17:00
会場	三菱自動車工業(株) パワートレーン製作所 京都工場
スケジュール	12:40 JR「京都」駅 八条通南側 集合・受付 12:45 バス移動 13:30 会社紹介・概要説明 13:50 工場見学 15:00 技術講演会 「三菱自動車における電動車両への取り組みについて(仮題)」 15:30 質疑応答 15:50 閉会挨拶 16:00 バス移動 17:00 JR「京都」駅 解散
集合場所	※添付「2016 mitsubishi.xls」をご参照ください。
集合時間	12:40
定員	40名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。

申込締切日	2016年10月28日(金)
参加費	正会員 2,000円 会員外 5,000円 学生は会員・会員外ともに無料◎当日現金お支払と引換えに領収書を発行致します。つり銭のなきようご用意願います。
参加者条件など	<p>注)現地に駐車場は用意しておりません。集合場所からは当支部手配のバスにご乗車頂き、現地へ向かいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工場内の撮影・録音、ハイヒール・サンダル・草履の着用は禁止。</li> </ul> <p>■開催日2週間前頃に最終出欠確認のご案内メールを参加予定者へ配信しています。最終確認メールが届かない場合は当事務局へお問合せください。</p> <p>■事前連絡なく開催日当日に代理の方がお越し頂いてもご参加頂けません。</p>
添付ファイル	<a href="#">2016_mitsubishi.xls</a>

## 2016－第9回見学会

開催日時	2016年12月1日(木)11:40～17:50
会場	旭硝子(株) 愛知工場
スケジュール	<p>11:40 JR「大府」駅 西口集合、受付</p> <p>12:00 バス出発</p> <p>13:00 開会挨拶・会社概要説明</p> <p>13:15 工場ビデオ鑑賞</p> <p>13:35 安全呼称、工場見学</p> <p>15:45 技術講演「自動車の高付加価値ガラスについて」</p> <p>16:30 質疑応答、閉会挨拶</p> <p>17:00 バス移動</p> <p>17:50 JR「大府」駅 解散</p>
集合場所	※添付「2016 asahi glass.xls」をご参照ください。
集合時間	11:40
定員	40名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2016年11月10日(木)
参加費	正会員 2,000円 会員外 5,000円 学生は会員・会員外ともに無料◎当日現金お支払と引換えに領収書を発行致します。つり銭のなきようご用意願います。
参加者条件など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同業他社の方のお申込はご遠慮ください。</li> <li>・現地に駐車場は用意しておりません。 集合場所からは当支部手配のバスにご乗車頂き、現地へ向かいます。</li> <li>・工場内の撮影・録音、ハイヒール・サンダル・草履の着用は禁止。</li> <li>・スカートの着用は禁止されております。</li> <li>・長袖の着用をお願いします。</li> </ul> <p>■開催日2週間前頃に最終出欠確認のご案内メールを参加予定者へ配信しています。最終確認メールが届かない場合は当事務局へお問合せください。</p> <p>■事前連絡なく開催日当日に代理の方がお越し頂いてもご参加頂けません。</p>
添付ファイル	<a href="#">2016 asahi glass.xls</a>

## 2016 - 第10回見学会

開催日時	2017年1月20日(金)12:30~16:20
会場	ヤマトホールディングス(株) 羽田クロノゲート
スケジュール	12:30 現地集合・受付(京浜急行空港線「穴守稲荷」から徒歩5分) 13:00 移動、挨拶、注意事項 13:30 見学 15:00 移動 15:15 講演「バリュー・ネットワーキング構想の実現 ～羽田クロノゲート完成までの軌跡～(仮題)」 16:00 質疑応答、挨拶 16:20 現地解散
集合場所	※添付「2016 yamato holdings.xls」をご参照ください。
集合時間	12:30
定員	35名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2016年12月20日(火)
参加費	正会員2,000円 会員外5,000円 学生は会員・会員外ともに無料◎当日現金お支払と引換えに領収書を発行致します。つり銭のなきようご用意願います。
参加者条件など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地に駐車場は用意しておりません。</li> <li>・現地集合、現地解散の為、当支部手配のバスはございません。</li> <li>・撮影、録音は固く禁じます。</li> <li>・ハイヒール・サンダル・草履の着用は禁止。</li> </ul> <p>■開催日2週間前頃に最終出欠確認のご案内メールを参加予定者へ配信しています。最終確認メールが届かない場合は当事務局へお問合せください。</p> <p>■事前連絡なく開催日当日に代理の方がお越し頂いてもご参加頂けません。</p>
添付ファイル	<a href="#">2016 yamato holdings.xls</a>

## 2016 - 第11回見学会

開催日時	2017年2月3日(金)12:55~17:10
会場	三菱化学株式会社 四日市事業所
スケジュール	12:55 近鉄四日市駅 市民公園集合 13:00 受付、バス出発 13:30 挨拶・工場概要説明 14:00 工場見学 16:00 技術講演「化学が創る「KAITEKI」なくなるま」 16:30 質疑応答、閉会挨拶 16:45 バス移動 17:10 近鉄四日市駅 解散
集合場所	※添付「2016 Mitsubishi Chemical.xls」をご参照ください。
集合時間	12:55
定員	32名
申込方法	専用WEBサイトよりお申込み下さい。 <a href="https://tech.jsae.or.jp/EventReceptionSystem/Events/Show?eid=33">https://tech.jsae.or.jp/EventReceptionSystem/Events/Show?eid=33</a>
申込締切日	2017年1月13日(金)

参加費	正会員 2,000 円 会員外 5,000 円 学生は会員・会員外ともに無料◎当日現金お支払と引換えに領収書を発行致します。つり銭のなきようご用意願います。
参加者条件など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同業他社の方のお申込はご遠慮ください。</li> <li>・現地に駐車場は用意しておりません。 集合場所からは当支部手配のバスにご乗車頂き、現地へ向かいます。</li> <li>・工場内の撮影・録音、ハイヒール・サンダル・草履の着用は禁止。</li> </ul> <p>■開催日2週間前頃に最終出欠確認のご案内メールを参加予定者へ配信しています。最終確認メールが届かない場合は当事務局へお問合せください。</p> <p>■事前連絡なく開催日当日に代理の方がお越し頂いてもご参加頂けません。</p>
添付ファイル	<a href="#">2016 Mitsubishi Chemical.xls</a>

## 2016 - 第12回見学会

開催日時	2017年3月10日(金)12:25~17:50
会場	横浜ゴム株式会社 新城工場
スケジュール	12:25 JR豊橋駅東口集合・受付 12:30 バス出発 13:30 挨拶、工場概況説明 14:10 注意事項説明、安全宣言 14:15 工場見学、質疑応答、休憩 15:45 技術講演 「乗用車向け低燃費タイヤのラベリング制度と対応技術について」 16:30 質疑応答、閉会挨拶 16:50 バス移動 17:50 JR豊橋駅東口解散
集合場所	※添付「2016 YOKOHAMA RUBBER.xls」をご参照ください。
集合時間	12:25
定員	40名
申込方法	専用WEBサイトよりお申込み下さい。 <a href="https://tech.jsae.or.jp/EventReceptionSystem/Events/Show?eid=35">https://tech.jsae.or.jp/EventReceptionSystem/Events/Show?eid=35</a>
申込締切日	2017年2月3日(金)
参加費	正会員 2,000 円 会員外 5,000 円 学生は会員・会員外ともに無料◎当日現金お支払と引換えに領収書を発行致します。つり銭のなきようご用意願います。
参加者条件など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同業他社の方のお申込はご遠慮ください。 (ブリヂストン、住友ゴム、東洋ゴム、日本ミシュラン)</li> <li>・ネクタイ着用及び携帯電話使用を禁止されております。</li> <li>・現地に駐車場は用意しておりません。 集合場所からは当支部手配のバスにご乗車頂き、現地へ向かいます。</li> <li>・工場内の撮影・録音、ハイヒール・サンダル・草履の着用は禁止。</li> </ul> <p>■開催日2週間前頃に最終出欠確認のご案内メールを参加予定者へ配信しています。最終確認メールが届かない場合は当事務局へお問合せください。</p> <p>■事前連絡なく開催日当日に代理の方がお越し頂いてもご参加頂けません。</p>
添付ファイル	<a href="#">2016 YOKOHAMA RUBBER.xls</a>

## 2016 - 第1回技術講習会

開催日時	2016年4月22日(金)13:00~16:45
会場	アクトシティ浜松 コンgressセンター 41 会議室 (静岡県浜松市中区板屋町 111-1) <a href="http://www.actcity.jp/about/access.php">http://www.actcity.jp/about/access.php</a>
テーマ	『安全・魅力なクルマづくり』
スケジュール	<p>13:00 開会あいさつ</p> <p>13:10-14:05 「軽自動車で最高の衝突安全を実現」 (株)本田技術研究所 R&amp;Dセンター 第12技術開発室 2ブロック 主任研究員 大垣 和信氏</p> <p>Honda の安全に対する考えと、軽自動車の安全に対する取り組みについて説明する。特に、軽自動車では初めて、JNCAP(自動車アセスメント)における「新安全性能総合評価ファイブスター賞」を獲得した N-WGN に採用された、乗る人だけでなく、相手車両や歩行者に与えるダメージも軽減する Honda 独自の衝突安全技術を中心に紹介する。</p> <p>14:15-15:10 「自動運転自動車の市街地公道走行実証実験とその課題」 金沢大学 新学術創成研究機構 未来社会創造コア自動運転ユニット ユニットリーダー 准教授 菅沼 直樹氏</p> <p>現在自動運転自動車の開発が世界各国で行われている。この開発により安全・快適性が向上するだけでなく、公共交通機関が不足する地方での新たな交通機関としての活用も可能となる。このような背景から、金沢大学は国内の大学初となる自動運転自動車の市街地公道走行実証実験を 2015 年 2 月から開始した。本講演では開発中の自動運転自動車の概要について述べると同時に、市街地公道走行実証実験の概要とその課題について述べる。</p> <p>15:20-16:15 「クルマ(二輪、四輪)の新しいカタチ」 川崎重工業(株) モーターサイクル&amp;エンジンカンパニー CLO 木村 徹 氏</p> <p>ドイツで1885年ガソリンで走る2輪車が、翌年3輪自動車が誕生して131年以上経過した。二輪車は、1980年代には国内生産だけでも640万台を超えた。しかし、海外生産が進展したことから2014年は60万台以下に減少。最近の二輪を含めたクルマは、安全・環境性能が飛躍的に向上している一方、デザインで購入するユーザーも多い。二輪と四輪の変遷を比べ、ワクワク・ドキドキする次世代を担う乗り物について考える。</p> <p>16:20-16:45 講師と聴講者の交流の場(ご参加は自由です・参加費の変更はございません) 講演終了後に、講師の方々または聴講者同士の交流の場を設けました。短い時間ですが、名刺交換や情報交換、ご歓談の場としてご利用ください。</p>
概要	より安全で魅力な自動車を開発するためには、クルマの楽しさを支える技術や感性の追求が重要である。各分野で活躍している講師の方に安全・魅力なクルマづくりの肝について講演していただく。衝突安全では軽自動車で最高の安全水準を達成した肝、自動運転では市街地公道実証実験の肝、デザインでは二輪・四輪をワクワクドキドキさせる肝についてお話いただく。講演後の交流の場では、各講師が用意した部品や資料などを見ながらの交流を行う。
集合時間	13:00
定員	120 名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2016年4月1日(金)
参加費	正会員 3,000 円 会員外 6,000 円 学生は会員・会員外ともに無料

## 2016 - 第2回技術講習会

開催日時	2016年6月24日(金)13:00~16:40
会場	刈谷市産業振興センター 小ホール7階 (刈谷市相生町 1-1-6) <a href="http://www.city.kariya.lg.jp/shisetsu/sangyokeizai/sangyokoshinsenta/">http://www.city.kariya.lg.jp/shisetsu/sangyokeizai/sangyokoshinsenta/</a>
テーマ	『自動運転実現に向けて』
スケジュール	<p>13:00~13:10 開会あいさつ</p> <p>13:10~14:05 「自動運転技術の現状と将来展望」 最近、話題となることの多い自動運転車技術に関して、交通事故削減のために我々が国土交通省と共に取り組んでいる課題および将来の完全自動運転車導入のために解決すべき周辺課題について、基本的な考え方も含めて概説する。</p> <p>独立行政法人自動車技術総合機構 交通安全環境研究所 国際調和推進部 部長 河合 英直 氏</p> <p>14:15~15:10 「自動運転技術の開発動向と課題」 近年、世界的に自動運転技術の実用化に向けた開発が活発である。その背景と目的を踏まえ、技術全体の概要を紹介する。最初に自動運転技術の歴史として過去の研究開発や実用化等の取り組みを示す。次に、自動運転技術を要素ごとに解説し、商品化を想定した高速道システムを紹介する。最後に、今後の技術課題を一般道自動運転等を事例として示す。</p> <p>トヨタ自動車㈱ 制御システム先行開発部 第2自動運転技術開発室 主幹 田口 康治 氏</p> <p>15:20~16:15 「クルマの智能化と交通社会の将来」 クルマの電動化は、今後クルマが智能化していく布石となり、さらにこうした電動化・智能化が進むと、従来のハードウェアの価値に加えて、ソフトウェアがどれだけ新しい価値を創造できるかが重要になる。『乗員が安心して移動を楽しめる自動運転』や、『交通社会に受け入れられる自動運転』など、人とクルマの間の新しい関係性から発展する交通社会の将来像について概説する。</p> <p>日産自動車㈱ 日産先進技術開発センター 企画・先行技術開発本部 技術企画部 部長 佐藤 学 氏</p> <p>16:15~16:40 講師と聴講者による自動運転の総合討議</p>
概要	<p>現在、最も注目されている「自動運転」は各地で実証実験が盛んに実施されている。しかしその実現に向けては社会的な理解や、技術開発、インフラ、さらにグローバルでの対応や標準化も欠かせない。そこで今回ご講演頂く講師の方々には、自動運転について、「官」の立場から自動運転の全体像と技術的・法的課題などの概説と、自動車メーカーからは自動運転に対する考え方、取り組み状況、課題、将来的な目標について講演いただき、自動運転の全体像に迫る。</p> <p>(※補足)今回は自動運転の理解や知識を幅広く学びたい方を想定しておりますが、技術交流会(7/15)で、要素技術について深く議論する場も設ける予定です。</p>
集合時間	13:00
定員	160名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2016年6月3日(金)
参加費	正会員☆3,000円 会員外 6,000円 学生は会員・会員外ともに無料

2016 - 第3回技術講習会

開催日時	2016年8月26日(金)13:00~16:40
会場	刈谷市産業振興センター 小ホール(7階) <a href="http://www.city.kariya.lg.jp/shisetsu/sangyokeizai/sangyokoshinsenta/">http://www.city.kariya.lg.jp/shisetsu/sangyokeizai/sangyokoshinsenta/</a>
テーマ	『燃費向上のための最新空力技術』
スケジュール	<p>13:00~13:05 講習会概要説明</p> <p>13:05~14:00 「4代目プリウスの空力性能開発」 4代目プリウスの空力開発に当たり、トヨタ自動車として40年ぶりに空力風洞設備を更新。より実走行に近い環境を再現することにより、詳細な車体周りの風流れ解析を可能にした。これにより、歴代トヨタ車でトップとなるCD=0.24の空気抵抗係数を実現し、今後のトヨタ車をリードする圧倒的な燃費性能40.8km/L(JC08モード)に貢献した。本講演では、この4代目プリウスで実現した新たな空力性能の進化、およびその開発技術について報告する。</p> <p>トヨタ自動車株式会社 MS車両実験部 熱流体・燃費開発室 空力 Gr 主任 北沢 祐介 氏</p> <p>14:00~14:10 休憩</p> <p>14:10~15:05 「タイヤによる自動車の空力特性向上について」 自動車の低燃費化に対して、タイヤの転がり抵抗の低減とともに、空気抵抗の低減が重要であることから、横浜ゴムでは、自動車全体の空気抵抗を低減するタイヤの研究を行っている。また、自動車の操縦安定性に影響を及ぼす車両リフトにも注目しており、自動車の空気抵抗低減とリフト低減を両立するタイヤのサイドデザインについてシミュレーションを用いて検討を行ってきた。本講演では、その検討内容を中心に紹介する。</p> <p>横浜ゴム株式会社 研究本部 室長 児玉 勇司 氏</p> <p>15:05~15:15 休憩</p> <p>15:15~16:10 「環境に優しい空力デザイン」 自動車の燃費を向上させる手法は車体の軽量化、エンジン改良、転がり抵抗低減など多岐に渡るが、比較的低いコストで燃費向上に大きく貢献する技術として車体の空気抵抗低減技術がある。講演では細部形状最適化技術をベースにデザイン開発における具体的な空力改善手法を解説し、自動車デザインへの理解を深める。また、スポーツカーなどの高速走行車両においては揚力を低減する手法が重要になるため、その具体的な手法についても概説する。さらに、航空機の最新の空力デバイス研究にも言及し、未来の空力デザイン技術を考える</p> <p>久留米工業大学 工学部 交通機械工学科 教授 東 大輔 氏</p> <p>16:10~16:40 講師と聴講者による空力技術の総合討議 (3講師への質疑補足、意見交換の場)</p>
概要	燃費向上への取り組み方には様々なアプローチの方法がある。エンジン性能の向上、車体の軽量化も重要であるが、今回、空力性能による燃費向上に焦点を当て、車体設計技術、要素技術、総合的な自動車空力のデザインの観点から、3名の講師を招きご講演いただく。
集合時間	13:00
定員	160名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2016年8月12日(金)
参加費	正会員 3,000円(会員外 6,000円)学生は会員・会員外ともに無料

## 2016 - 第4回技術講習会

開催日時	2016年10月28日(金)13:00~16:45
会場	三島市民文化会館 ゆうゆうホール(静岡県三島市一番町 20-5) <a href="http://www.mishima-youyouhall.com/">http://www.mishima-youyouhall.com/</a>
テーマ	『市場を進化させるクルマたち』
スケジュール	<p>13:00~13:10 開会の挨拶</p> <p>13:10~14:05 「燃料電池自動車 MIRAI の開発及び 水素社会実現に向けたチャレンジ」 燃料電池自動車市販に向けた取り組みについて①燃料電池(スタック、タンク)技術の詳細、②環境性能 だけではない MIRAI の商品魅力、③さらには専用インフラを必要とするクルマならではの取り組みに関 し、開発裏話なども一部加えながら説明する。また水素社会実現に向けた取り組み、今後取り組むべき 内容、チャレンジについて紹介する。</p> <p>トヨタ自動車株式会社 Mid-size Vehicle Company MS 製品企画 ZF チーフエンジニア 田中 義和 氏</p> <p>14:05~14:15 休憩</p> <p>14:15~15:10 「軽を基点としたスモールカー造り 『ダイハツ BOON/トヨタ PASSO』」 軽自動車の存在感拡大やコンパクト HV 車の増加によって存在意義が問われる状況となっていた「ブーン /パッソ」。そうした状況下だからこそ、軽で培ったノウハウを余すことなく取り入れる事で、軽自動車比率が 販売の約4割を占める国内市場において、「やっぱり小型車はいいね」と言っていただけのフルモデルチェ ンジにトライ。軽を基点としたスモールカー造りで小型車がレベルアップする、それを実現した商品全体の 概要を紹介する。</p> <p>ダイハツ工業株式会社 DNGA ユニット 開発本部 製品企画部 エクゼクティブ チーフエンジニア 正木 淳生 氏</p> <p>15:10~15:20 休憩</p> <p>15:20~16:15 「インド生産の世界戦略車『スズキ バレーノ』」 軽量化と高剛性を主眼に開発した新プラットフォームを用い、インド向けを考慮し4mの全長としながら後 部居住性、荷室容量の増大を図った。また新開発の K10 型直噴ターボエンジンを導入し、欧州向けには マイルドハイブリッド車の導入など、グローバル市場に向けた戦略車をインド 1 拠点で生産する。インド生 産による特別な対応や、その車を世界各国に展開するうえで配慮した点などを紹介する。</p> <p>スズキ株式会社 四輪技術本部 第2カーライン長 伊藤 邦彦 氏</p> <p>16:20~16:45 会場の外(屋外)で車両を囲んでの講師との交流会(予定)</p>
概要	より高性能・低コストで快適なクルマの企画~製品化にあたっては、今まで常識として考えられていた技 術に対し、最初に立ち戻って見直したり、発想を変えて技術開発を行うことが重要である。材料・設計・評 価・製造における新たな取り組みに焦点を当て、どんな発想(思想)で着手し、どうやって商品化を実現し たかをお話しいただく。今回は話題となっている、3 台のクルマの開発担当者から紹介いただく。
定員	120 名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご 記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2016年10月7日(金)
参加費	正会員 3,000 円(会員外 6,000 円) 学生は会員・会員外ともに無料

開催日時	2016年12月9日(金)13:00~16:40
会場	名古屋銀行協会 5階 大ホール (名古屋市中区丸の内2-4-2) <a href="http://www.nagoya-ba.or.jp/index.html">http://www.nagoya-ba.or.jp/index.html</a>
テーマ	『軽量化のための接合・加工技術』
スケジュール	<p>13:00~13:10 開会あいさつ</p> <p>13:10~13:45 「異種材料接合技術の現状と課題」 車体の軽量化の観点から各種構造材料を適材適所で組み合わせる「マルチマテリアル化」が注目されている。そのために必要不可欠な金属、高分子及びセラミックス材料を対象とした異種材料接合技術について概説する。特に、アルミ合金と鉄鋼材料との異種金属接合技術の現状、金属と樹脂・CFRPとの直接接合の原理と技術開発の現状、さらにレーザーを用いた金属とセラミックス・ダイヤモンドのろう付技術などについて述べる。</p> <p>大阪大学 名誉教授 接合科学研究所 特任教授 中田 一博氏</p> <p>13:45~14:30 「レーザーを使用した接合技術「DLAMP」について」 金属の樹脂化は自動車軽量化の有効な手段の一つであり、そのなかでも金属/樹脂複合部材による軽量化技術は、近年非常に注目されてきている。DLAMPは、連続波レーザーを利用し金属表面に特殊なアンカー構造を形成させることで、非常に強い接合強度を得ることができる接合技術である。また有機溶剤等を使用しない環境に優しい接合技術である。DLAMPの技術内容と特徴について紹介する。</p> <p>ダイセルポリマー(株) 東京本社 取締役 新事業企画部 部長 板倉 雅彦氏</p> <p>14:40~15:25 「自動車に適用されるアルミニウムの接合技術」 自動車の車体や部品にアルミニウム合金材を適用する際に、実際に使用された様々な接合工法を分類し、メリットとデメリットを示しつつ紹介するとともに、それら接合工法選定における留意点の理解を深めるために、典型的な接合品質についてアルミ材と鋼の対比において解説する。また、アルミと鋼および樹脂などの異種材の接合に活用できる機械的締結を主体に取り入れた、神戸製鋼の開発技術「電磁かしめ接合」「ピアスメタル」「フローティング・スタッド」「樹脂射出接合」を紹介する。</p> <p>(株)神戸製鋼所 アルミ・銅事業部門 技術部 接合技術研究室 室長 今村 美速(よしはや)氏</p> <p>15:25~16:10 「STAF(Steel Tube Air Forming)プロセスによる自動車部品の軽量化の紹介」 近年、自動車の燃費向上およびCO<sub>2</sub>ガス排出量削減が求められる中、その一つの解決策として部材の軽量化が挙げられ、様々な取り組みがなされている。自動車部材の軽量化は安全性を確保した上で実現することが必要である。高強度・高剛性部材が得られれば、素材の厚さを薄くでき軽量化が期待できる。高強度・高剛性部材を提供できるSTAFプロセスを紹介する。</p> <p>住友重機械工業(株) 技術本部 技術研究所 材料技術グループ 主任研究員 工学博士 石塚 正之氏</p> <p>16:10~16:40 テーマ別討論会:講師とサンプルを囲んだ討論会</p>
概要	現在まで自動車が進化し、今後は自動運転化やFCV、EVなどでクルマが大きく変わっていくことになって、時代を通して変わらない最重要課題の一つは材料の軽量化やそれを実現する加工技術である。近年では、軽量化材料の高度活用技術、異種材料の組み合わせ技術、新製造技術による軽量化など、様々な研究開発が盛んに行われている。そこで今回は、軽量化技術の最新動向、最新の異種材料接合技術や加工技術を紹介して頂き、車両・部品開発現場での参考やヒントとなるような講演をいただく。
定員	100名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い「中部支部行事申込書」に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。

申込締切日	2016年11月18日(金)
参加費	正会員 3,000円(会員外 6,000円) 学生は会員・会員外ともに無料

## 2016 - 第6回技術講習会

開催日時	2017年2月24日(金)13:00~16:45
会場	名古屋銀行協会 5階大ホール <a href="http://www.nagoya-ba.or.jp/index.html">http://www.nagoya-ba.or.jp/index.html</a>
テーマ	『予防安全技術の最新動向』
スケジュール	<p>13:00~13:10 開会挨拶</p> <p>13:10~14:05 「自動車アセスメントによる予防安全技術を備えたより安全な自動車等の普及促進」 独立行政法人自動車事故対策機構は、国土交通省が実施する自動車アセスメントの実務を担っている。近年の自動車技術の進展を踏まえて実用化された、予防安全技術を備えた自動車の普及に向けて、ユーザーがより安全な自動車を選択しやすいように、また、選択したいと思っただけのよう工夫している。評価、及びその結果の広報について紹介する。</p> <p>独立行政法人 自動車事故対策機構 企画部・自動車アセスメント部 部長 大森 隆弘 氏</p> <p>14:15~15:10 「予防安全システムのセンシング技術」 近年、自動緊急ブレーキ、車線逸脱警報に代表される予防安全システムが広く普及してきている。これらのシステムを実現するには、様々な走行環境やドライバ状態を認識するセンシング技術がカギを握る。クルマの周りの状況を認識するミリ波レーダ、画像センサに加え、遠方や見通し外の情報を提供する車車間・路車間通信など、予防安全システムを支えるセンシング技術について解説する。</p> <p>株式会社デンソー 走行安全事業部 走行安全技術企画室 室長 鈴木 知二 氏</p> <p>15:20~16:15 「ぶつからないクルマ?」スバルが生んだアイサイトの秘密」 スバルは黎明期から、「技術は人のためにある」の思想に基づき、自ら高い安全性能を目指してきた。脈々と受け継がれる安全思想は、衝突安全性能でトップ評価獲得の常連化、さらには、そもそも「ぶつからない」ことを目指した、スバル独自の運転支援システム「アイサイト」の実現に繋がった。今回は特にアイサイトの27年の開発の歴史とそれを支えたスバルの知能化技術について解説する。</p> <p>富士重工業株式会社 スバル第一技術本部 車両実験第4部 部長 樋渡 穰 氏</p> <p>16:15~16:45 講師と聴講者の交流の場(3講師への質疑補足、意見交換の場)</p>
概要	<p>予防安全システムを装備した車両の事故発生率が、非装備車に比べかなり低くなっているデータが紹介されるなど、今後、さらに採用の拡大、新たな技術開発が予想される予防安全について、技術の基礎となる、危険の「予知」、「検知」、「行動」の観点で、自動車メーカー、部品メーカー、アセスメントの立場から講演いただきます。</p> <p>また、第6回技術講習会「テーマ: 予防安全技術の最新動向」は、2017年2月10日開催予定の第3回技術交流会「テーマ:クルマを止める技術」と連携して開催します。技術講習会は幅広く学びたい方を対象とし、技術交流会は専門的(今回は「止める」ことに絞っています。)に深く議論する方を対象としています。</p>
定員	160名
申込方法	専用WEBサイトよりお申込み下さい。 <a href="https://tech.jsae.or.jp/EventReceptionSystem/Events/Show?eid=34">https://tech.jsae.or.jp/EventReceptionSystem/Events/Show?eid=34</a>
申込締切日	2017年2月3日(金)
参加費	正会員 3,000円(会員外 6,000円) 学生は会員・会員外ともに無料

## 2016 - 第1回技術交流会

開催日時	2016年7月15日(金)13:00~18:20
会場	刈谷市総合文化センター 401研修室 (刈谷市若松町 2-104)
テーマ	『自動走行に求められる技術』
スケジュール	<p>第1部</p> <p>13:05~13:55 ①安全運転を支えるセンシング技術 ▽現在の運転支援技術、自動走行用センサーの概説、将来の高度環境認識センサーの課題と展望など</p> <p>デンソー ADAS 推進部 センサ開発室開発2課 課長 深谷 直樹 氏</p> <p>13:55~14:45 ②センサーと地図を使った自動走行 ▽MMS(Mobile Mapping System)、高精度3次元地図情報の概説、それらを活用した愛知県における自動走行実証実験の紹介など</p> <p>アイサンテクノロジー MMS事業部 部長代理 佐藤 直人 氏</p> <p>14:55~15:45 ③機械制御工学から見た人工知能 ▽これまでの人工知能研究と制御工学の発展を踏まえ、機械学習や人工知能を制御へ適用させるために必要な技術、システムの考え方、課題など</p> <p>名城大学 理工学部機械工学科 准教授 池本 有助 氏</p> <p>15:45~16:50 全体討議(出席者全員)</p> <p>17:00~18:20 第2部:意見交換会 (出席者全員) 飲物・軽食つき。</p>
概要	<p>近未来の自動車の姿として自動走行が技術開発目標の一つになっている。自動走行には、環境認識センサー、デジタル地図、制御の人工知能化等が必要と言われており、各々の技術は高度に進化しつつあるものの具体的にどのレベルまで技術を高めれば良いのかは十分に見えていない状況である。今回は各技術の専門家を招聘し、研究開発の現状、課題、将来展望などについて説明をいただき、今後の車両開発、システム開発への応用を促進できるよう、参加者と共に議論をして頂く。</p>
集合時間	13:00
定員	40名程度
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。【申込締切日延長しました】
申込締切日	2016年7月11日(月)
参加費	正会員 4,000円(会員外 7,000円)学生は会員・会員外ともに 1,000円

## 2016 - 第2回技術交流会

開催日時	2016年11月25日(金)13:00~18:20
会場	邦和セミナープラザ (愛知県名古屋市港区港栄 1-8-23) <a href="http://www.howaseminarplaza.com/">http://www.howaseminarplaza.com/</a>
テーマ	『レースを支える技術』
スケジュール	<p>【第1部 講演と討論】</p> <p>13:05~13:55 ①MotoGP マシン ▽レースに特化したエンジンとフレーム、および、ライダーがマシンポテンシャルを最大限に引出せるエンジン制御およびトラクション制御等。</p> <p>スズキ㈱ 二輪開発部 寺田 寛 氏</p> <p>13:55~14:45 ②モトクロスレース車両の開発 ▽ロードレースと異なる、モトクロスならではの車両開発の難しさと、モトクロスレースの面白さ等。</p> <p>ヤマハ発動機㈱ 技術本部 MS 開発部 YZグループ 上村 正毅 氏</p> <p>14:55~15:45 ③SuperGT マシン ▽世界で最も速い GT カーのエンジン、シャーシの開発ポイント、量産車との共有技術等。</p> <p>トヨタテクノクラフト㈱ TRD開発部 部長 永井 洋治 氏</p> <p>15:45~16:50 ④全体討議(出席者全員)</p> <p>【第2部】 17:00~18:20 ⑤意見交換会(出席者全員) ※立食形式にて、軽食・飲物のご用意があります。</p>
概要	流麗精悍なマシンがサーキットや悪路を駆け抜ける華やかなレースの世界、その裏では卓越した技術や能力を持つ人々が集結し、長い時間を掛けて車両やエンジンの製作に携わっている。今回は、量産とは異なる世界でレース技術に携わる専門家を招聘し、レース用車両の開発、レースの運営等の解説を頂くと共に参加者と討議をして頂き、今後の研究開発、車両開発に参考にしていきたい。
集合時間	13:00
定員	40名程度
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2016年11月11日(金)
参加費	正会員 4,000円 会員外 7,000円 学生(正会員・会員外ともに)1,000円

## 2016 - 第3回技術交流会

開催日時	2017年2月10日(金)13:00~18:20
会場	刈谷市産業振興センター 6階 604 会議室 (刈谷市相生町 1-1-6) <a href="http://www.city.kariya.lg.jp/shisetsu/sangyokeizai/sangyokoshinsenta/">http://www.city.kariya.lg.jp/shisetsu/sangyokeizai/sangyokoshinsenta/</a>
テーマ	『クルマを止める技術』
スケジュール	<p>【第1部 講演と討論】 13:05~13:55 ①制動性能におけるブレーキシステム構築 ▽ドライバの踏力を液圧に変換して4輪へ伝達し、摩擦力を利用する事で制動力を発生するシステムと制動停止距離短縮技術を紹介</p> <p>株式会社アドヴィックス システム技術部 グループリーダー 小池 康広 氏</p> <p>13:55~14:45 ②制動性能におけるタイヤの役割 ▽制動時にタイヤが発生する前後力について、スリップ率との関係、各路面の違いやそれに対応するタイヤの開発、最近のトレンド等を紹介</p> <p>住友ゴム工業株式会社 第三実験部 部長 和田 靖男 氏</p> <p>14:55~15:45 ③ブレーキ制御技術の基本と進化 ▽車両の重要な基本性能の一つである制動回避性能を支えるブレーキ制御技術について、ABS を始めとしたブレーキ制御の基本とその進化を、最近の技術動向も踏まえて紹介</p> <p>トヨタ自動車株式会社 シャシー制御開発部 グループ長 福田 光雄 氏</p> <p>15:45~16:50 ④全体討議(出席者全員)</p> <p>【第2部】 17:00~18:20 ⑤意見交換会(出席者全員) ※立食形式にて、軽食・飲物のご用意があります。</p>
概要	<p>第3回技術交流会「テーマ:クルマを止める技術」は、2017年2月24日開催予定の第6回技術講習会「テーマ:予防安全技術の最新動向」と連携して開催します。技術交流会は深く議論する方を対象とし、技術講習会は幅広く学びたい方を対象としています。</p> <p>第3回技術交流会は、予防安全技術の中で交通状況をセンシングして、危険のために停止が必要と判断された場合の『止める』という技術に絞っています。</p> <p>自動車の運転では、車間距離の調整や赤信号で停止する場面等で、ドライバがブレーキペダルを踏むことで減速あるいは停止させます。近年は、先行車との衝突を防ぐための自動ブレーキを搭載した車両が多くメーカーから市販されているとともに、新聞やニュースで取り上げられている自動運転車両では、周辺の交通状況に応じて車両が自ら車線変更や停止させる技術が開発されています。</p> <p>車両の基本性能である“走る、曲がる、止まる”の中で、止まるという運動はブレーキ~タイヤ~路面の間で力を伝えることで達成されます。今回は、クルマを止める技術に関わっている専門家を招聘し、研究開発の現状、課題、将来展望等について話題を提供頂き、今後の車両技術開発への応用と促進ができるよう、参加者と共に議論する。</p>
集合時間	13:00
定員	40名程度
申込方法	専用WEBサイトよりお申込み下さい。 <a href="https://tech.jsae.or.jp/EventReceptionSystem/Events/Show?eid=36">https://tech.jsae.or.jp/EventReceptionSystem/Events/Show?eid=36</a>
申込締切日	2017年1月27日(金)
参加費	正会員 4,000円 会員外 7,000円 学生(正会員・会員外ともに)1,000円

## 2016 - 中堅技術者懇談会 (1泊2日)

開催日時	2016年10月6日(木)～2016年10月7日(金)
会場	邦和セミナープラザ (愛知県名古屋港区港栄 1-8-23) <a href="http://www.howaseminarplaza.com/">http://www.howaseminarplaza.com/</a>
スケジュール	<p>◎趣旨: 技術者が日頃職場で抱える諸問題や悩み、解決してきた経験などを話し合い、今後の業務に活かして頂くと共に、所属会社・経歴を越えた会員相互の研鑽と交流の場とする。</p> <p>【1日目】</p> <p>09:40～09:45 開会挨拶:担当理事 羽田雅敏氏 (愛知機械工業(株) フェロー)</p> <p>09:45～10:10 オリエンテーション (スケジュール説明・自己紹介など)</p> <p>10:10～12:00 講演:「中堅技術者に期待すること」 斎藤 昭則氏/秋田県産業技術センター 技術顧問</p> <p>12:00～13:00 昼食</p> <p>13:00～17:00 グループ討議(5グループ)</p> <p>17:00～19:30 休憩(入浴)、夕食</p> <p>19:30～22:00 自由交流、名刺交換</p> <p>【2日目】</p> <p>07:30～08:00 朝食</p> <p>08:30～12:00 グループ討議まとめ</p> <p>12:00～13:00 昼食</p> <p>13:00～15:50 グループ発表(5グループ)</p> <p>15:50～16:30 閉会、アンケート記入</p>
概要	<p>◎技術者懇談会参加者の声(15年度)より抜粋</p> <p>まず中堅技術者の方々に訴えたいのはもっと自動車技術会イベントに参加しましょう!という事です。新しい自分の発見、物の見方が身につくからです。“百聞は一見にしかず”と今回改めて感じました。講演会ではその内容を通じて自分のなすことを感じる事ができました。中でも印象に残った言葉は「人は何かに夢中になっている時はたとえ苦勞であっても、苦勞を苦勞と思わないのだ」です。この言葉を聞いた時には、どうすれば夢中になれるのかが、私にはわかりませんでした。講演の後のグループ討議を行う中で、グループの仲間からの言葉がその答えとなっていました。「自分の成長を感じる事が出来れば、仕事も楽しくなり夢中になれるのでは」という事です。同じ世代の技術者からの言葉だからこそ素直に自分に入ってくる事が出来ました。また、グループ討議では皆職場が違っていても悩むところは同じだという事が分かり、共感そして共に解決することで、自分自身の悩みがどんどん軽くなっていくのが分かりました。今回学んだこと、感じたことを仕事に活かし、いい職場作り、いい物づくりに努めてゆきます。</p> <p>株式会社トヨタ車体研究所 ポデー設計部 第1ポデー設計室 二反田 真悟</p>
定員	50名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2016年7月15日(金)
参加費	正会員 14,000円 (会員外 17,000円)
参加者条件など	<p>①35歳前後の中堅技術者</p> <p>②生産技術関係の技術者、女性技術者の方も是非ご参加ください</p>

## 2016 - 若手技術者懇談会 (1泊2日)

開催日時	2016年11月3日(木)～2016年11月4日(金)
会場	邦和セミナープラザ (愛知県名古屋市港区港栄 1-8-23) <a href="http://www.howaseminarplaza.com/">http://www.howaseminarplaza.com/</a>
スケジュール	<p>◎趣旨: 技術者が日頃職場で抱える諸問題や悩み、解決してきた経験などを話し合い、今後の業務に活かして頂くとともに、所属会社・経歴を越えた会員相互の研鑽と交流の場とする。</p> <p>【1日目】 9:40～ 9:45 開会挨拶:担当理事 羽田雅敏 氏(愛知機械工業(株) フェロー) 9:45～10:10 オリエンテーション(スケジュール説明・自己紹介など) 10:10～12:00 講演:「若手技術者に期待すること」 ジヤトコ(株) フェロー 黒沢 実 氏 12:00～13:00 昼食 13:00～17:00 グループ討議(5グループ) 17:00～19:30 休憩(入浴)、夕食 19:30～22:00 自由交流、名刺交換</p> <p>【2日目】 7:30～ 8:00 朝食 8:30～12:00 グループ討議まとめ 12:00～13:00 昼食 13:00～16:10 グループ発表(5グループ) 16:10～16:30 閉会、アンケート記入</p>
概要	<p>～若手技術者懇談会参加者の声(15年度)～</p> <p>昨年、先輩からの勧めもあり若手技術者懇談会に参加し、普段は関わる機会の少ない大勢の同世代の技術者と交流する貴重な体験ができました。自動車技術会のこういったイベントへの参加は初めてで、最初は緊張していましたが次第に打ち解け合い、皆さん職場も業務も異なりますが胸の内には同じ様な悩みを抱えて頑張っているのだと分かりました。2日間の交流を通して悩みや経験談、アドバイスや指摘を意見交換し、自分とは別の視点や捉え方に気付くこともできとても有意義な時間を過ごせました。物事の捉え方を変えるための幾つかのアイデアをこの懇談会で得て、日々の業務への姿勢に取り入れています。この様な貴重な体験の場を与えてくださった事務局の方々、参加者の方々に感謝しています。</p> <p>三菱自動車エンジニアリング(株) エンジン設計部 エンジン装備グループ 村松 朋弘</p>
定員	50名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2016年9月9日(金)
参加費	正会員 14,000円 (会員外 17,000円)
参加者条件など	<p>①25～29歳の若手技術者 ②生産技術関係の技術者、女性技術者の方も是非ご参加ください</p>

## 2016ーフォロー懇談会

- (1) 日時：2017年 2月17日(金)  
 (2) 場所：KKRホテル名古屋 Tel 052-201-3326  
 名古屋市中区三の丸1-5-1  
 (3) スケジュール

時 間	内 容
10:00 ~ 10:30	主旨説明、自己紹介
10:30 ~ 12:00	グループ別討議 (テーマ：女性技術者の悩みと解決法)
12:00 ~ 13:00	昼食、休憩
13:00 ~ 15:30	グループ別討議・まとめ (午前の続き)
15:50 ~ 17:20	発表&アドバイザーを交えた意見交換
17:30 ~ 19:00	自由交流会

女性技術者のアドバイザーに参加いただき、グループ討議、発表、意見交換、自由交流会の場で、質問への回答や悩みなど一緒に考え、アドバイスをいただきます。

★アドバイザー：金子 美智代様(トヨタ自動車株)

## 2016年度 社会貢献行事

	開催日	開催地	会 場	プログラム・参加者			協業大学 (指導員)
				モノづくり体験 「風に向かって走れ!ウインドカー」	エンジン分解 組立体験「クルマのメカに触れてみよう!」	学生フォーミュラ カー展示	
第1回 共催 ★	4/10 (日)	福井県 坂井市	エンゼル ランドふ くい	実績 上級コース：19名 初級コース：50名	実績：14人	福井大学	福井大学
第2回 施設主 体 ★	5/22 (日)	岐阜県 瑞浪市	サイエン スワール ド	実績 上級コース：20名	実績：8名	—	岐阜大学
第3回 共催 ★	7/10 (日)	愛知県 豊橋市	豊橋市視 聴覚教育 センター	実績 上級コース：31名	実績：20名	豊橋技術 科学大学	豊橋技術 科学大学 静岡大学
第4回 施設主 体 ★	8/27 (土)	石川県 小松市	わくわく コマツ館	—	実績：13名	—	—
第5回 施設主 体 ★	10/16 (日)	富山県 富山市	富山市科 学博物館	募集： 上級コース 17名	実績：8名	富山大学	富山大学
第6回 施設主 体 ★	11/6 (日)	三重県 三重市	みえこど もの城	実績： 上級コース 7名	実績：8名	—	静岡理工 科大学
第7回 施設主 体	1/29 (日)	静岡県 静岡市	静岡科学 館るくる	実績： 上級コース 50名	実績：17名	静岡理工科 大学	静岡理工 科大学

## 2016年度 学自研行事

委員長校：金沢大学 副委員長校：トヨタ名古屋大学校、静岡理工科大学  は役員会を示す

開催年月	行事名	開催場所（担当大学）	参加校	
2016年 4月16日(土)	参与会#1 学生委員会#1	刈谷市産業振興センター (委員長校：金沢大学)	参加校 参加人員	14校 31人
4月23日(土)	ものづくりセミナー	豊橋技術科学大学 (豊橋技術科学大学)	参加校 参加人員	7校 48人
4月29日(金)	走行技術トレーニング#1	小笠山総合運動公園エコパ (名工大)	参加校 参加人員	9校 132人
5月28日(土)	基礎技術交流会#1(プレゼン)	刈谷市産業振興センター (トヨタ名古屋、フォーミュラWG、OP会)	参加校 参加人員	12校 34人
6月5日(土)	ダンパー講習会#1(実技)	トヨタ名古屋自動車大学校 (静岡理工科)	参加校 参加人員	4校 15人
7月2日(土) ～3日(日)	走行技術トレーニング#2	小笠山総合運動公園エコパ (金沢工大)	参加校 参加人員	12校 290人
7月9日(土)	学生委員会#2	刈谷市産業振興センター (委員長校：金沢大学)	参加校 参加人員	13校 15人
7月9日(土)	ダンパー講習会#2(座学)	刈谷市産業振興センター (静岡理工科大学)	参加校 参加人員	7校 26人
8月8日(月) ～10日(水)	3支部合同 学生フォーミュラ試走会	小笠山総合運動公園エコパ (3支部)	中部地区参加校12校 (内EV2チーム)	
8月19日(金) ～20日(土)	走行技術トレーニング#3	小笠山総合運動公園エコパ (名古屋大/豊橋技科大)	参加校 参加人員	23校 430人
8月20日(土)	基礎技術交流会#2(プレゼン)	刈谷市産業振興センター (フォーミュラWG、OP会)	参加校 参加人員	14校 43人
9月24日(土)	走行技術トレーニング#4	小笠山総合運動公園エコパ (トヨタ名古屋大)	参加校 参加人員	15校 260人
10月1日(土)	参与会#2 学生委員会#3	刈谷市産業振興センター (委員長校：金沢大学)	参加校 参加人員	13校 25人
10月1日(土)	FSAE参戦報告会	刈谷市産業振興センター (金沢工業大学)	参加校 参加人員	8校 24人
11月12日(土)	基礎技術交流会#3(コスト)	刈谷市産業振興センター (名城大)	参加校 参加人員	8校 33人
11月12日(土)	臨時学生委員会	刈谷市産業振興センター (委員長校：金沢大学)	参加校 参加人員	12校 15人
12月4日(日)	テクニカルセミナー#2	スズキ (岐阜大学)	参加校 参加人員	12校 57人
2017年 1月21日(土)	学術研究講演会	刈谷市産業振興センター (委員長校：金沢大学)	参加校 参加人員	6校 53人
2月4日(土)	学生委員会#4	刈谷市産業振興センター (委員長校：金沢大学)	参加校 参加人員	14校 20人

注) OP会とは「Old Persons committee」の略で学生フォーミュラ経験のある企業人で学自研行事を支援いただけるJSAE会員で構成。

(中部支部学自研の支援組織として活動を実施中 2回程度/年OP委員会を開催)

### 支部行事への協力

キッズ・モノづくり ワンダーランド	4月9日(土)～10日(日)福井(福井大学、静岡理工科大学) 5月22日(日)岐阜(岐阜大学) 7月9日(土)～10日(日)豊橋(豊橋技術科学大学、静岡大学) 10月16日(日)富山(富山大学) 11月6日(日)松阪(静岡理工科大学) 1月29日(日)静岡(静岡理工科大学)
----------------------	--